



杉並区

スペシャルオリンピックス冬季世界大会

29. 2. 20
杉並区広報課

日本代表の近藤選手が区長を表敬訪問

20日午後2時、平成29年3月14日からオーストリア・シェラートミングおよびグラーツで開催される2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会に、ショートトラックスピードスケートで出場する近藤瑞穂（こんどうみずほ）さんが区長を表敬訪問し、大会への意気込みを語りました。

スペシャルオリンピックスは、1968年に故ケネディー大統領の妹ユニス・シュライバーが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障害のある人たちにスポーツを通じ、社会参加を応援することを目的として設立されました。そのスポーツトレーニングの成果の発表の場として、オリンピックと同様に夏季・冬季の世界大会を4年毎に開催しています。11回目の冬季世界大会となる「2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会」は、世界110の国・地域から15,100名（アスリート、コーチ、ボランティア等）が参加し、オーストリア・シェラートミングおよびグラーツで開催されます。

近藤瑞穂さんは、1995年生まれの21歳です。区内在住で、区立中学校の卒業生です。近藤さんは、学習と記憶に障害がありますが、幼い頃から父親の指導で、バレーボール・体操競技・スピードスケートを行ってきました。スペシャルオリンピックスのプログラムには、2008年より参加しています。また、世界大会では、2013年冬季のピョンチャンに、ショートトラックスピードスケートで出場し、333m、500mで銀メダル、222mでも銅メダルを獲得しました。

今回の冬季大会は、近藤さんにとって2度目の世界大会です。昨年開催されたスペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟に東京都代表として参加し、333mディビジョンF02で1位となり代表選手に選考されました。日本代表アスリート54名の中の一人として大会に臨みます。



本日、2月20日午後2時、近藤さんは家族やスペシャルオリンピックス日本・東京のメンバーとともに、杉並区役所の田中良区長を表敬訪問しました。田中区長は、「本番まで健康管理に気をつけて、大会では練習の成果を思う存分発揮してください。」という励ましの言葉を掛けると、近藤さんははにかんだ笑顔を見せていました。

【報道機関問い合わせ先】

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京 TEL03-3615-5569

総務部広報課：TEL03-3312-2111